

平成29年度第1回 甲賀市立信楽中央病院経営評価委員会 議事録公開

日 時：平成29年10月13日（金） 14時00分～15時30分

場 所：信楽中央病院 1階 機能訓練室

会 議

1 委嘱状の交付

市長あいさつ

2 議題：（1） 委員長、副委員長の選出について

（2） 会議の公開について

（3） 信楽中央病院新改革プラン、平成28年度決算、平成29年度
予算について

（4） 新改革プランの実績について

（5） その他

出席委員：岡村委員長、野崎副委員長、山本委員、荒木委員、本馬委員、中井委員

事務局：岩永市長（挨拶後退席）、中島院長、福山健康福祉部長、藤村事務長、
加藤看護部長、平岡事務長補佐

14：00 開会

1 委嘱状交付

市長から、委嘱状交付

市長 あいさつ

※ 市長 退席

（1） 委員長、副委員長の選出について

委員会規則第2条の規定により、委員長、副委員長を互選
委員長に岡村委員、副委員長に野崎委員を選任

(2) 会議の公開について

議長（委員長）

議事に入る。

信楽中央病院経営評価委員会は公開と決定し、発言委員の名を除いてホームページで議事録要旨を公開する。

次回の会議からは、会場の大きさで5人程度の傍聴を認める。

委員各位や事務局から非公開の申出があれば、その都度、非公開を決定する。

(3) 信楽中央病院新改革プラン、平成28年度決算、平成29年度予算について 議長

議事の3、信楽中央病院新改革プラン、平成28年度病院事業の決算、平成29年度予算について、事務局の説明を求める。

《事務局 説明》

議長

この新改革プランは、当初の改革プランがあり、改訂版が作られ、第3回目の新改革プランとして策定された。新改革プランは委員会に提案され、事務局においてパブリックコメントを実施し、その意見を踏まえながらプランとして策定したもの。

まず、パブリックコメントの意見はどのようなものであったか。

事務局

1件のコメントがあった。内容は長文で、プランの内容変更というより、病院への建設的なご意見などであり、原案は修正していない。

議長

パブリックコメントは市の広報紙等に掲載されるが、どれだけ市民の声がうまく反映されているのかなと思う。

委員

市民からの提案等が少ないのは、市民の盛り上がりが少ないということ。パブリックコメントで市民の意見を聞いたということが、一人歩きしていないかと思う。

(4) 新改革プランの実績について

議長

関連しますので、議事4 信楽中央病院新改革プランの実績について、事務局の説明を求める。

《事務局 説明》

議長

事務局より説明があったが、これについて意見、議論を願う。

委員

平成28年度決算書の未処理欠損金は、どのようになっていくのか。

事務局

毎年欠損金が出れば、繰越する未処理欠損金は増えていく。経営の安定化から、単年度黒字にすることが必要であり、黒字になれば欠損金が減っていくことになる。

平成28年度決算では、当年度純損失となり、未処理欠損金が増えている。

現預金があるため直ぐに経営ができなくなることはないが、同じような経営を漫然と続ければ厳しく、経営の黒字化に向けて改革を行うことが必要である。

議長

平成28年度の単年度で約8千100万円の純損失があり、当年度繰越欠損金が約5億円となっている。新改革プランでは改革することによって、32年度では黒字になる計画が、平成28年度を見ても計画より約5千万損失が増えている。患者数の動きではごくわずかに増えているが、大きな増加ではないなか、経営は相当厳しい。どう対応するのか、次回にはいろいろな考えを示していただき、討論する必要がある。

委員

患者の送迎はされているのか。

事務局

送迎はしていない。県内では公立病院が送迎するところはないと聞いている。民間の診療所でされているところはある。信楽中央病院は3箇所の出張診療所を設けて、出かけて行って診療をしている。患者数が減るなか診療所の継続も課題となっている。

委員

経営は厳しいとのことだが、信楽中央病院は、在宅医療、回復期のリハビリ、医療連携、1次救急をしている。訪問診療も積極的に行い、リハビリにも力を入れていこうということで、地域での多職種連携も積極的に行っている。

患者を増やさないとどうしようもないが、信楽地域では高齢者は増えるが、人口は減るなか、病院として患者数が減る今後をどのように考えられるのか。

夜間救急の当直医師は、非常勤なのか。

医療機関の機能連携が重要と思う。甲賀病院、甲南病院は満床のことも多く、受け皿（転院先）を求めている。一方で信楽中央病院は空床があり、患者を求めている。医師は、自治医大出身の総合診療医で信頼できる。医療機関と連携するためには、看護機能の強化が必要で、甲賀病院と看護師の人材交流などについて、具体的に協議を進めてはどうか。

事務局

信楽地域の人口は1万2千人を下回ったが、高齢者は増えている。病院の対象は高齢者であり、高齢者が増えているのに患者が減るのは、他の病院に流れているといえる。国保の関係機関に調査依頼しており、対策を講じられないかと考えている。

就労世代の方は、病院の診療時間には勤務があり、来てもらうことは難しいため、民間診療所で受診されていると思うが、病院では検診などでカバーしたい。

当直では、常勤医は月に6回ぐらい土日を含めて当直しているが、限度かなと考えており、非常勤医師に依頼している。

他の病院との連携では、紫香楽病院は診療内容が違うため難しい。甲賀病院とは、研修2年目の医師の1ヶ月研修を受け入れており、つながりもできている。

看護部門では人材が1人でも欲しい状況であるが、他病院から人材に来てもらうのは難しい。

委員

健康塾や出前講座など、努力されている。実績報告は数字だけの説明に終わっており、もう少し細かく説明を聞きたいし、そうすることで議論が進むといいのかなと思う。

議長

委員会の議事録もそうだが、この実績のまとめに関しても、各委員に公開の前にまとめたものをお送りいただき、委員の確認を受けてください。

議事録を読まれたのことと思うが、6月の議会でも委員会について機能しているのかとの議員の発言があった。議事録は大切なものであり、公表している内容が要約しすぎていないか。

議事録は要点を逃さずまとめて、委員に送ってください。

その他の事項で、事務局から発言はあるか。

事務局

1点目は、可能であれば、第2回の委員会を12月から1月にかけて、開催したいと考えていますので、日程について、委員各位のご意見を伺いたいと思います。

2点目は、第2回の会議では、信楽中央病院の現状の分析と、経営の安定化のために病院が取り組むべき内容などを、各委員からお聞きしたいと考えています。

このことに関して、事前のご意見や資料の提案をお願いできればと考えています。

議長

本日の委員の意見を参考に、次回の準備をしてください。

これにて第1回信楽中央病院経営評価委員会を終了します。